

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	姉妹都市等国際交流事業				事業コード	0113
担当課等	所属名	市民部 男女参画国際課			担当係名	
	課長名	市民部 男女参画国際課	担当者名	関田あい	電話番号	8213

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	心がつながる相互理解	コード 3	施策	多様な国際交流・地域間交流の推進	コード 3
	基本事業	国際交流事業の推進	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 2款 1項 1目 姉妹都市等国際交流事業 (013-01)	
	特記事項					
事業期間	☒ 単年度 ☐ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度					
事務事業の概要	諸外国からの要人来訪への対応や、カナダのビクトリア市との姉妹都市交流を通じ、市民の国際交流活発化と国際理解の促進を図る					
根拠法令等	昭和60年5月23日に調印したビクトリア市との姉妹都市提携					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
1985年に締結したビクトリア市との姉妹都市提携による交流や、1993年の開催が決定したアルペンスキー世界選手権の成功に向け、国際交流に関する市民の関心が高まってきたことを受け、1991(平成3)年に『盛岡市国際交流指針』が策定された。また、第三次盛岡市総合計画(H8～17)にも国際交流の推進が位置づけられ、推進が図られている。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
平成20年度実施の「盛岡市まちづくり評価アンケート」における国際交流・地域間交流についての満足度は、以下のとおり とても満足1.6% やや満足8.9% どちらともいえない73.8% やや不満5.2% とても不満1.8% 不明8.8% 平成21年12月市議会定例会で、姉妹都市の拡大についての要望があった						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
平成21年度においては、新型インフルエンザの影響でビクトリア市からの親善訪問団の受入れを中止した。 平成22年度は姉妹都市締結25周年記念事業で5月に盛岡市長と市民がビクトリア市を、9月にビクトリア市長と市民が盛岡市を訪問するなど節目の年として交流が活発に行われた。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	在住外国人を含む市内に住む全ての人と、盛岡を訪れた外国人	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 盛岡市民(市内在住外国人を除く)	単位	人
				B. 市内在住の外国人	単位	人
				C. 盛岡を訪れた外国人(宿泊者)	単位	人
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) ・国際交流推進体制の確立 ・国際交流事業の推進 ・国際協力活動の推進のため諸外国からの要人來訪対応事務 ・盛岡市・カナダビクトリア市姉妹都市提携25周年に向けた実行委員会の立上げ 23年度計画(23年度に計画している主な活動) ・国際交流推進体制の確立 ・国際協力活動の推進のため諸外国からの要人來訪対応事務	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 諸外国要人等來訪件数	単位	件
				B. カナダ・ビクトリア市からの訪問団受入れ日数	単位	日
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	姉妹都市であるカナダ・ビクトリア市との交流はもとより、盛岡市に居住、あるいは訪れた外国人と市民との交流を進め、国際交流活動に積極的に参加してもらう	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 諸外国要人來訪人数 【指標の性格: ☒ 上げる ☐ 下げる ☐ 維持する】	単位	人
				B. カナダ・ビクトリア市からの訪問団等受入れ人数 【指標の性格: ☐ 上げる ☐ 下げる ☒ 維持する】	単位	人
				C. 【指標の性格: ☐ 上げる ☐ 下げる ☐ 維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	国際交流活動が活発に行われる外国人に盛岡を知ってもらう	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	アンケート調査「国際交流に参加したことがある」と答えた市民の割合(単位:%) 盛岡国際交流協会賛助会員数(個人)(単位:人) 盛岡国際交流協会賛助会員数(団体)(単位:団体)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	盛岡市民(市内在住外国人を除く)	人	297,592	297,267	297,267	298148	298148	298148	27年度 298148
対象 指標B	市内在住の外国人	人	1264	1255	1255	1259	1259	1259	27年度 1259
対象 指標C	盛岡を訪れた外国人(宿泊者)	人	9736	9087	9087	10094	10094	10094	27年度 10094
活動 指標A	諸外国要人等来訪件数	件	9	8	10	7	10	10	27年度 10
活動 指標B	カナダ・ビクトリア市からの訪問団受入れ日数	日	4	0	10	5	5	5	27年度 5
活動 指標C									年度
成果 指標A	諸外国要人来訪人数	人	63	33	50	31	40	40	27年度 40
成果 指標B	カナダ・ビクトリア市からの訪問団等受入れ人数	人	8	0	32	22	22	22	27年度 22
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	1,209	1,495	5,543	4,466	1,154	1,154	*****
財源 内訳	④国	千円	0	0	0				*****
	⑤県	千円	0	0	0				*****
	⑥地方債	千円	0	0	0				*****
	⑦一般財源	千円	1,209	1,495	1,514	839	1,154	1,154	*****
	⑧その他	千円	0	0	4,029	3,627	0	0	*****
	合 計 (④～⑧) (=A)	千円	1,209	1,495	5,543	4,466	1,154	1,154	*****
延べ業務時間数		時間	670	670	670	670	670	670	*****
職員人件費 (B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)		千円	2,680	2,680	2,680	2,680	2,680	2,680	*****
トータルコスト (A) + (B)		千円	3,889	4,175	8,223	7,146	3,834	3,834	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	①施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	☐ 見直す余地がある ☒ 結びついている	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	②公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	☐ 見直す余地がある ☒ 妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	③対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	☐ 拡大または絞る余地がある ☒ 現状で妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	④意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	☐ 拡大または絞ることができる ☒ 現状で妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
有効性評価	⑤成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	☒ 向上余地がある ☐ 向上余地がない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑥廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	☐ 影響がない ☒ 影響がある	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑦類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	☐ 類似事業がある ☒ 類似事業がない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
効率性評価	⑧事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	☐ 削減余地がある ☒ 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑨人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	☐ 削減余地がある ☒ 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
公平性評価	⑩受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	☐ 適正化余地がある ☐ 公平・公正である ☒ 特定の受益者はいない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑪費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	☐ 適正化余地がある ☐ 公平・公正である ☒ 特定の受益者はいない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること カナダ・ビクトリア市との姉妹都市提携が四半世紀を超え、それなりの実績を積み重ねているが、行政主導の交流が多いことから、一層の深まりのため、今後は幅広い分野での交流を活性化するための方策を検討する。
	②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何か？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 盛岡市の姉妹都市がカナダ・ビクトリア市であることについて、市民の認知度を向上させていく必要がある。ビクトリア市についての周知を一層図るとともに、今後の交流のあり方を市民とともに検討し、多様な分野での交流を進めることで、よりよい姉妹都市関係を築く。

5. 課長意見

一次評価	(1) 一次評価者としての評価結果			(2) 全体総括(振り返り, 反省点)		
	① 必要性	● 妥当		○ 見直し余地あり	今までの取り組みの経験が生かされた交流が行われている。	
	② 有効性	● 妥当		○ 見直し余地あり		
	③ 効率性	● 妥当		○ 見直し余地あり		
	④ 公平性	● 妥当		○ 見直し余地あり		
(3) 今後の事務の方向性(改革改善案)						
☐ 終了 ☒ 継続 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☒ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) ☐ 改革改善を行う ☐ 事業統廃合・連携						
方向付けの理由と改革改善の内容 ひとりでも多くの市mんが国際交流に参加できるような取り組みが必要であり、情報の収集発信を強化する。						